

令和4年10月27日
健康推進課

令和3年度 練馬区がん検診無料チケット事業について

1 事業目的

子宮がん、乳がんの罹患者は近年増加傾向で、比較的若い年齢で罹患率のピークを迎える。このため、子宮がん検診は20歳、乳がん検診は40歳からの受診を習慣づけ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

2 事業内容

検診初年度となる子宮がん20歳、乳がん検診40歳の女性区民へ、自己負担金が無料となるチケットおよび啓発用リーフレットを個別送付。

無料チケット

対象者の検診費用を無料とすることで受診のきっかけを作り、検診に対する誤解や不安を払拭する。

啓発用リーフレット

がん検診の制度を周知することに加え、がんに対する正しい知識の普及、早期発見の重要性を伝える。また、適正な受診間隔で受診することの必要性について周知し、継続的な受診を促す。

3 目標

種別	目標受診率
子宮がん検診（20歳）	11.0%
乳がん検診（40歳）	26.0%

目標受診率：国実施のクーポン事業における全国平均受診率。

4 実施状況

<対象者>

子宮がん検診（20歳）	平成13年4月1日～平成14年3月31日生まれ
乳がん検診（40歳）	昭和56年4月1日～昭和57年3月31日生まれ

<対象者数、受診件数および受診率>

子宮がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
平成30年度	3,584人	206件	5.7%
令和元年度	3,540人	187件	5.3%
令和2年度	3,687人	248件	6.7%
令和3年度	3,493人	168件	4.8%

乳がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
平成 30 年度	5,285 人	1,190 件	22.5%
令和元年度	5,212 人	1,125 件	21.6%
令和 2 年度	5,162 人	1,082 件	21.0%
令和 3 年度	5,038 人	1,040 件	20.6%

< 発送日 >

令和 3 年 4 月 27 日 (火)

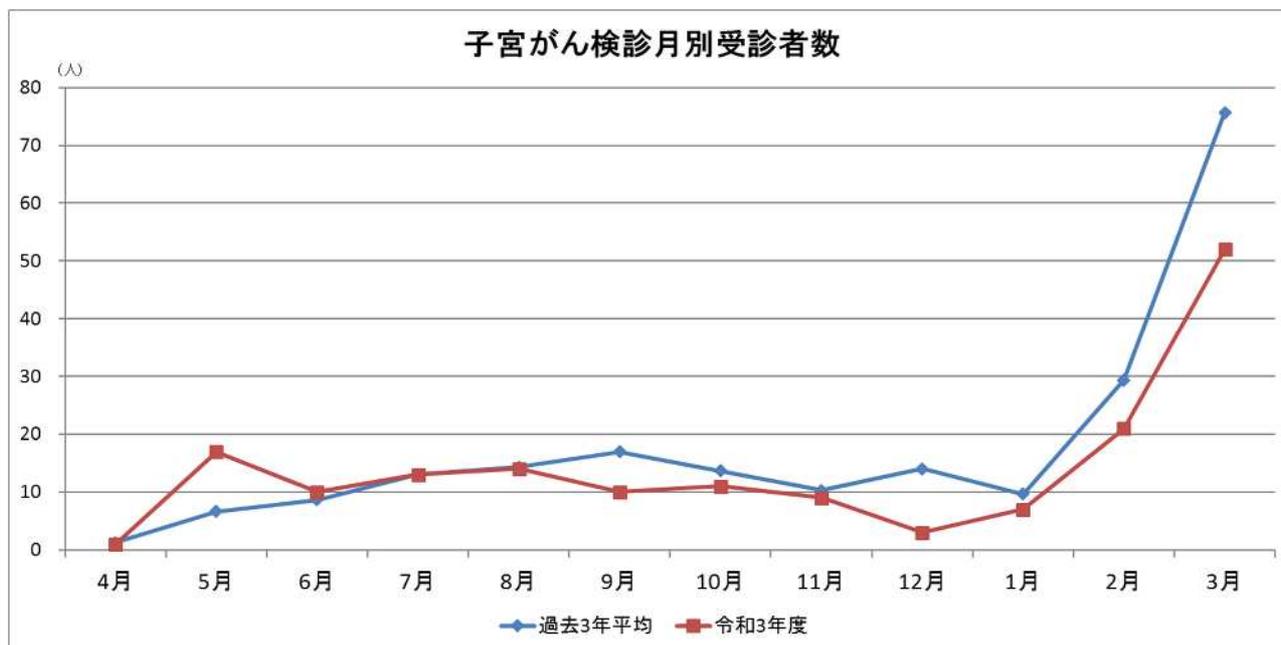
5 受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するため、過去 3 年 (平成 30 ~ 令和 2 年度) の平均と比較した。

【子宮がん検診】

無料チケット送付直後の 5 月は受診者が増えたものの、受診数、受診率共に過去 3 年平均を下回る結果となった。

令和 3 年度 168 人 (4.8%)、過去 3 年平均 214 人 (5.9%)



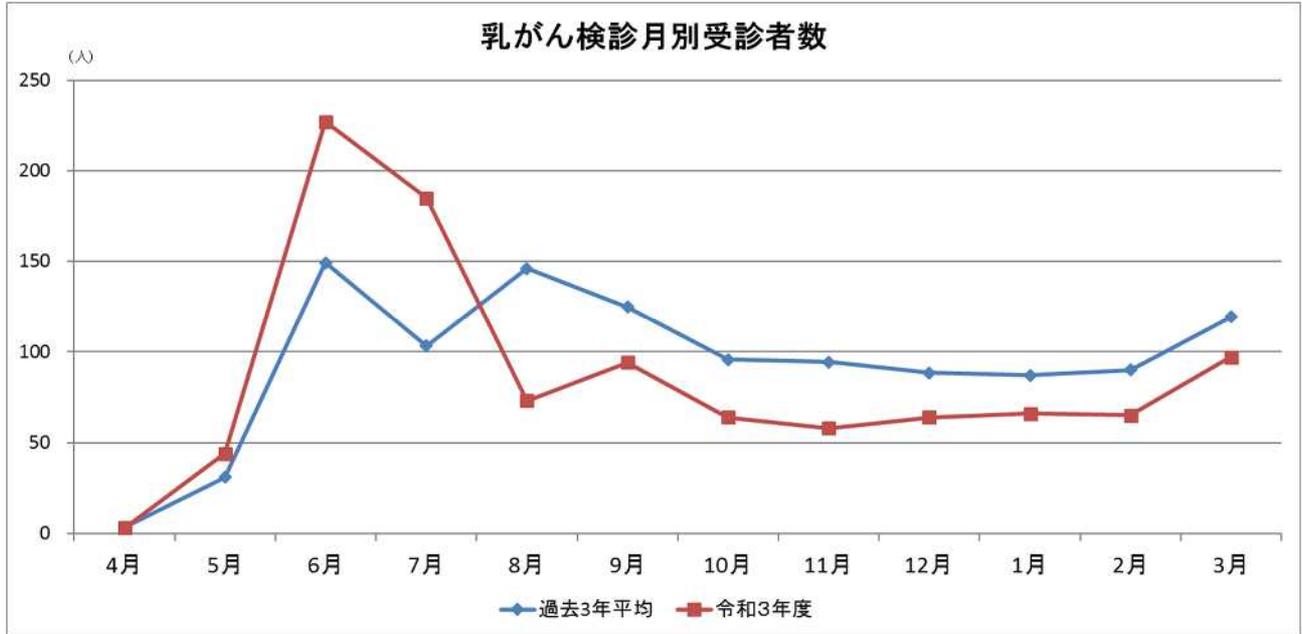
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去 3 年平均	1	7	9	13	14	17	14	10	14	10	29	76	214
令和 3 年度	1	17	10	13	14	10	11	9	3	7	21	52	168

【乳がん検診】

乳がん検診の受診月は、申込み月の2か月後となるため、6月以降の受診状況を比較する。

無料チケット送付から2か月後は例年通り受診者数が大幅に増えたものの、合計では受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

令和3年度 1,040人(20.6%)、過去3年平均 1,132人(21.7%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	3	31	149	103	146	125	96	94	88	87	90	119	1,132
令和3年度	3	44	227	185	73	94	64	58	64	66	65	97	1,040

6 考察

子宮がん検診および乳がん検診ともに前年度比で減少となったが、子宮がん検診は25～29歳の受診率が29.4%、乳がん検診は40～44歳の受診率が36.1%とすべての年齢層の中で最も高い結果となっており、これは無料チケットによる継続受診の効果であると想定できる。